

# 地域は学校の応援団！学校は地域の活力源！ —地域・学校・家庭・行政で協働する持続可能な取組—



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
白鳥学園 那珂市立 瓜連小学校	白鳥学園学校運営協議会 平成28年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 5名 2名	白鳥学園 地域学校協働本部
白鳥学園 那珂市立 瓜連中学校	白鳥学園学校運営協議会 平成28年4月1日 指定	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 5名 2名	白鳥学園 地域学校協働本部



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

人生100年時代、Society5.0の到来、DXの急速な進展、新型コロナウイルス感染症への対応などVUCA時代と呼ばれる予測困難な時代において、一人一人が前向きに受け止め、未来の社会を自立的に生きていくことが求められている。  
そのことを具現化するための「防災体験アカデミー」、「SDGs講演会」、「自分らしい生き方プロジェクト」を通じて、人と人のつながり・絆を深める。

### 目標や目指す姿(学校)

郷土を愛し、夢や希望をもち、自ら学び、たくましく生き抜く児童生徒の育成

### 目標や目指す姿(地域)

地域を生かした教育で  
まちづくり・ひとづくり



## 白鳥学園学校運営協議会 の特徴

### 委員の立場や属性等

- 地域住民
- 保護者・PTA関係者
- まちづくり委員会関係者
- 
- 教育委員会職員
- 
- など、計 **20** 名で構成
- 年間平均 **5** 回程度開催

### 効果的な運営の工夫

学校運営協議会委員が地域学校協働活動にも協力することで、関係団体等の連携がとりやすくなっている。よって、学校や地域のニーズに対応した活動の提供につながっている。さらに、地域学校協働活動員が企画・運営することで、当事者意識をもって活動している。なお、活動の成果や課題について毎回評価を行い、その結果を年度中、または次年度の活動計画に反映させるなどPDCAサイクルを構築しており継続的な取組がなされている。教育委員会が事務局を担当することにより、多様な人材や活動団体・グループを、それぞれの活動にコーディネートすることもでき、より効果的で多様な活動を仕組むことができる。さらに、文書事務に関しても、事務局が担当となることで、委員、活動員、教職員の負担軽減にもつながり、持続可能な活動につながる1つの要因となっている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

新年度前に白鳥学園グランドデザインの承認をし、学校評価の経年変化等から「子ども・学校・地域」のためにどんな取組が必要か、新たな課題はあるかなどを熟議している。その内容を柱立てし「防災体験アカデミー」「SDGs講演会」「自分らしい生き方プロジェクト」を中心に地域のために、子ども・学校のために活動できるように協力員へ情報共有している。



グランドデザインの説明

### 地域学校協働活動

児童・生徒及び地域住民の防災意識の向上を目的に「防災体験アカデミー」を開催している。具体的には、消火体験、目隠し避難体験、新聞紙スリッパづくり、夜間ライフラインストップ体験等を行った。  
児童・生徒が自分らしい生き方を模索する「自分らしい生き方プロジェクト」とし、総勢36名のロールモデルのコーディネートをした。自らGTとなった協力員もいた。  
12月には地域住民も聴講可能な環境活動家のSDGs講演会を企画運営予定である。



防災体験アカデミーの様子

### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会終了後に地域学校協働活動打合せの設定をし、一体的組織的に運営できるようにしている。また、会議の開催場所を市施設で行うことで、気兼ねなく集まることができ、意見交換や情報共有がしやすい環境である。  
地域学校協働活動に参画する地域住民への理解だけでなく、他の地域住民への情報共有も含めて、CS通信の発行をしている。市HPへの掲載、学校HPへの掲載も併せて行っている。このことで、地域住民や他地域・団体への広がりも見られる。

## 取組

## 成果・効果

### 【令和4年度1学期末白鳥学園学校評価】

この調査は、白鳥学園（瓜連小中学校）の児童生徒のよりよい成長を願い、学校・家庭・地域が一体となって児童生徒の教育に当たることできるようにするために行っております。回答は、「A：そう思う」「B：だいたいそう思う」「C：あまりそう思わない」「D：そう思わない」の4観点から選択する方法をとっております。表内のパーセントは、「A：そう思う」「B：だいたいそう思う」のプラス評価を選択した割合を示しています。

No.	内容	児童生徒 R4.1学期	保護者 R4.1学期	教職員 R4.1学期	地域 R4.1学期	回答平均 R4.1学期
1	夢や希望をもち、実現に向けて努力できる。	93%	96%	100%	75%	91%
2	学校の教育活動を通して、心やからだが強くなっている。	91%	98%	93%	100%	96%
3	住んでいる地域のことを積極的に調べ、ふるさと「瓜連・那珂」のよさを知っている。	83%	88%	81%	100%	88%
4	すすんであいさつができています。	95%	81%	93%	100%	92%
5	自分の将来のことを見直し、夢や希望（目標）に向かってあきらめずに挑戦し、粘り強くやりとげようとしている。	93%	78%	97%	100%	92%
6	学年の違う人や中学生（小学生）との交流活動に、進んで取り組んでいる。	84%	95%	96%	100%	94%
7	家族や地域の人々に愛されていることを知り、感謝の気持ちを持つことができている。	96%	95%	96%	100%	97%
8	授業参観や懇話会、学校行事、PTA活動など、地域や保護者と交流する活動は、適切に設定・運営されている。		95%	100%	100%	98%

学校運営協議会委員及び地域学校協働活動協力員が「学校の応援団「学校は地域の活力源」という姿勢で熟議したり、活動の運営していることで、活動が充実したものになっている。そうした活動に参加した子ども達の中には、アンケートに「将来大人になったら、今度は自分が子どものために、返していきたい」との感想を書いている子どももおり、意識の変容が図られている。また、地域住民も、子どもたちの役に立っているというやりがいを感じながら支援している。学校周辺の環境整備をする際に、地域の方が集まる何気ない姿に「地域とともにある学校だなあ」との実感している。

※R4学校評価参照